様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	かしわざと さくら園	
運営法人名称	株式会社 さくらブロッサム	
福祉サービスの種別	保育所	
代表者氏名	園長 渡壁 恵美	
定員（利用人数）	80 名	
事業所所在地	〒 555-0022 大阪市西淀川区柏里1-14-16	
電話番号	06 - 6472 - 1390	
FAX番号	06 - 6472 - 1395	
ホームページアドレス	https://www.kashiwazato-sakura.net	
電子メールアドレス	kashiwazato-sakura@aroma.ocn.ne.jp	
事業開始年月日	令和5年4月1日	
職員・従業員数※	正規 15 名	非正規 5 名
専門職員※	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士 13名 ・栄養士 3名 ・看護師 1名 ・子育て支援員 2名 	
施設・設備の概要※	[居室]	
	[設備等] 保育室（0,1,2,3,4,5歳児） 調理設備 沐浴設備（0,1歳児） シャワー室（2歳児） 乳児用トイレ 園庭（0,1,2歳児） 幼児用トイレ 幼児用手洗い 3階園庭（3,4,5歳） 3階園庭シャワー みんなの部屋（相談室）	

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	0 回
前回の受審時期	年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

理念：

こどもの優しさと個性を尊重、そして成長を援助し、こども・保護者・職員が笑顔になる園を目指す。

保育方針：

- ・人と人との関わりを大切にします。
- ・素直なこころを育てます。
- ・笑顔と喜びを大切にします。

【施設・事業所の特徴的な取組】

物的環境と人的環境を整え、こども達があたたかい雰囲気の中で心地よく過ごす事ができる園を目指しています。物的環境として、こども達が自ら興味がわき、自分で取捨選択して遊ぶ事ができるよう保育室の環境を整え、好きな遊びを集中して行える、遊びを見つける事ができる「明日も楽しく遊びたい」と思えるような環境作りをしています。

人的環境として、保育者が担当するこどもの生活の援助を行い、こどもの発達の小さな変化に気づき、成長、発達に応じた保育を丁寧に行うことができる園を目指し取り組んでいます。延長保育では、異年齢児と過ごし、様々な友だちや保育者と関わり、こどもたちが心穏やかに、心地良く過ごせる環境づくりをしています。

【評価機関情報】

第三者評価機関名	一般社団法人ば・まる
大阪府認証番号	270052
評価実施期間	令和5年8月1日～令和6年3月31日
評価決定年月日	令和6年3月31日
評価調査者（役割）	26（運営管理委員） 1901C031（運営管理・専門職委員） 1901C032（運営管理・専門職委員） 2101C020（運営管理・専門職委員） （ ）

【総評】

◆評価機関総合コメント

今年度の新設園であり、様々な事の仕組みや流れを試行錯誤しながら構築をすすめている所です。法人全体の方針として、個々の子どもの優しさと個性を尊重し、そして成長を援助し子ども・保護者・職員が笑顔になる園を目指されています。友だちや保育士、身近な人との関わりの中で、こどもが人に対する愛情と信頼を醸成できる保育を手がけ、仲間意識や人間関係、協調性を育み、自我の発達を促せるよう努められています。子どもの、笑顔と喜びを大切に、褒められることで自己肯定感が高まり、達成感から自分に自信が持てるこどもへと育てられるよう留意されています。

◆特に評価の高い点

【心身を育む】

毎週、外部から、体操の先生を招き全身を使った体操教室が実施されています。年齢にあった体操を行う事で全身の発達を促すことに繋がられています。また、2歳児以降は、子どもの学習意欲をたかめ、自ら考え、学び、行動できる子ども達の育成を目指す、就学前教育も取り入れられています。3歳児以降は、毎週外部講師によるリトミックを通して体幹の育成に繋がられています。

◆改善を求められる点

【地域交流・地域貢献】

今年度の新設園であるため、地域との繋がりや、地域に向けた施設機能の提供等、今から繋がりを深め、交流していくところです。地域と一体となった存在となれるような、地域交流・地域貢献の開拓、取組展開に期待します。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育施設として令和5年4月に開園してから約10か月が経過したなか、今回初めて第三者評価を受審いたしました。今回、受審したことで、今後の課題となる計画等の書き方の精査、地域との密接な関わりを築き、「どんな 思いを持って保育を行っているか」という点について保育理念が根幹にあることを再確認できました。保護者の意向を聞きながら、保育の目標を明確に伝え、園の強みである恵まれた人材を活かし、こどもの未来へ貢献してゆく園を目指して精進していきます。また、職員が生き生きと働ける職場環境を作ることも質の向上のためには欠かせないものだ実感いたしました。

◆第三者評価結果

- ・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
I-1 理念・基本方針		
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
(コメント)	理念基本方針は、ホームページへの掲載、園内掲示、パンフレット等に記載されています。保護者等には、入園説明会の際に説明されています。職員に向けては、年1回法人全体での会議で、説明確認されており、園内でも毎月の会議の場等で共有されています。保護者に向けたわかりやすい説明の工夫拡充が望まれます。	

		評価結果
I-2 経営状況の把握		
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
(コメント)	区内のニーズ状況、環境状況の把握を、行政資料を中心に取り組まれています。見学时等の保護者等からの話を元に、地域ニーズや地域課題の把握に努められています。コスト分析は月次で把握し、検討されています。	
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
(コメント)	法人全体の経営課題を踏まえながら、各園で出来ること、取り組めることからの改善に繋がられています。毎月の状況は、法人役員・施設長で共有されています。職員への周知拡充が望まれます。	

		評価結果
I-3 事業計画の策定		
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
(コメント)	法人全体の中長期計画が策定されており、収支計画を含めた課題や目標等が策定されています。定期的な仕組みとしての評価見直しの拡充、園としての中長期計画拡充が望まれます。	
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
(コメント)	法人中長期計画の内容を意識した、園の事業計画の策定に努められています。地域を含めた事業計画の拡充、評価可能な計画策定の拡充が望まれます。	

I - 3 - (2) 事業計画が適切に策定されている。		
I - 3 - (2) - ①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
(コメント)	職員の意見を持ち寄り、話し合うことで、事業計画の策定に繋がられています。事業計画に対する評価見直しについて、仕組みとしての整備拡充が望まれます。	
I - 3 - (2) - ②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
(コメント)	事業計画の保護者に関する部分についての周囲や説明が行われています。事業計画全体に関する周知拡充、説明の工夫拡充が望まれます。	

		評価結果
I - 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I - 4 - (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I - 4 - (1) - ①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
(コメント)	年1回、職員の自己評価が実施されており、年2回の職員個別面談時に、課題や現状についての話し合い等が行われています。自己評価結果を基に、面談時に次年度の目標設定が行われています。自己評価結果を取りまとめ、分析することで、次年度以降の事業計画にも反映できるよう努められています。客観的に評価可能な目標設定が望まれます。	
I - 4 - (1) - ②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
(コメント)	職員自己評価等を基に、園全体の課題の把握、分析に繋がられています。仕組みとしての整備拡充が望まれます。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

		評価結果
Ⅱ - 1 管理者の責任とリーダーシップ		
Ⅱ - 1 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ - 1 - (1) - ①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
(コメント)	施設長は、主任と共に、職員の意見を把握した上で、職員全体が働きやすいように努められています。職種毎の職務内容・員数について、明示されたものがあり、保護者にも配布されています。有事を含めた役割・責任体制の明確化が望まれます。	
Ⅱ - 1 - (1) - ②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
(コメント)	コンプライアンス規程が定められており、職員全体に周知されています。定期的なコンプライアンスに関する研修の拡充が望まれます。	

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
II-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
(コメント)	職員の自己評価や、職員会議時の課題検討等で、資質の向上に繋がる検討を意識されています。職員参加型の資質向上への取組み拡充が望まれます。	
II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
(コメント)	日々の支援の中で、必要性和優先順位を考え、職員配置や役割分担を検討されています。職員含めた検討改善する場の整備拡充が望まれます。	

		評価結果
II-2 福祉人材の確保・育成		
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
(コメント)	法人の中長期計画を踏まえた人材確保と育成に努められています。具体的な、職員定着や育成に関する計画の拡充が望まれます。	
II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	b
(コメント)	職務評定表、職員自己評価が策定されています。職員にもわかりやすい、総合的な仕組みとしての整理拡充が望まれます。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
(コメント)	職員が働きやすい職場環境に留意されており、有給休暇・産前産後休暇・介護休暇等も、積極的に活用されています。ライフワークバランスに配慮した勤務態勢や休暇取得が実践されています。ストレスチェック等、心身の健康・安全確保に向けた取組の拡充が望まれます。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
(コメント)	年1回の職員個人面談が実施されており、面談時に個人目標に対する話し合いと翌年度の目標設定等が行われています。目標に対する進捗状況の確認、客観的に評価可能な目標設定への取組が望まれます。	
II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
(コメント)	年間研修計画が策定されています。研修後は研修報告書が作成されており、職員間で共有されています。研修実績や研修カリキュラム、研修内容の評価見直しに対する、仕組みとしての整備拡充が望まれます。	
II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
(コメント)	園内研修での、OJTが行われています。職員全体が、研修に参加できるよう配慮されています。職員個々の技術水準や研修歴等を把握できる、仕組みの整備拡充が望まれます。	

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
(コメント)	今年度新設開園の施設であるため、今年度における実習性受け入れ実績はありません。保育士・看護師等の実習生受け入れに向けた、マニュアル・体制の整備拡充が望まれます。	

		評価結果
II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
(コメント)	ホームページ等で、園の方針や保育内容、基本的な法人情報が公表されています。意見等に対する取組結果等の公表拡充が望まれます。	
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
(コメント)	経理規定等があり、適切な支出となるよう努められています。職員に対する、ルールの明確化が望まれます。	

		評価結果
II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
(コメント)	法人内他施設と共同で、地域貢献となる相談や体験等の地域事業を、コロナ禍の制限緩和に伴い、順次実施していく予定です。保護者等も巻き込んだ地域交流の取組拡充が望まれます。	
II-4-(1)-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
(コメント)	地域の方々の読み聞かせボランティア等の受け入れがあります。コロナ禍の制限緩和に伴い、学校関係含めたボランティア等の受け入れ拡充が予定されています。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
(コメント)	関係機関等との連携が必要と思われるケースでは、職員全体で情報を共有・検討し、必要に応じた関係機関・社会資源との連携へと繋げられるよう配慮されています。関係機関・社会資源等が、わかりやすく把握できる工夫されたリストの作成等が望まれます。	

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域福祉のニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
(コメント)	見学希望の保護者等や、保護者からの生の声、地域内の他児童施設等からの情報収集を中心に、地域ニーズや課題の把握に努められています。民生委員等、地域情報収集手法の拡充が望まれます。	
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
(コメント)	法人内他施設との協働で、地域の子どもを持つ保護者等に向けた、相談等の地域貢献事業が予定されています。コロナ禍の制限緩和に伴い、取組内容の拡充が望まれます。	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
(コメント)	法人と施設の保育理念の実現に向けた、保育の振り返りや話し合いが行われています。子どもの尊重や基本的人権の尊重について、セルフチェックシート等、振り返り見つめ直す機会の拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
(コメント)	権利擁護に対するマニュアル等が策定されています。チェックリストや、日々のチェックポイント等を明確化し、定例化することで、さらなる取組の向上に繋がられるかと思われます。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
(コメント)	ホームページやパンフレット等で、基本方針や保育の内容が公表されています。随時の見学に対応されています。画像等を多用し、内容がイメージしやすい、伝わりやすくなるよう、努められています。	
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
(コメント)	利用開始にあたっては、見学時の説明等で伝えられています。わかりやすい説明の拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
(コメント)	必要に応じた情報提供が行われています。引き継ぎにかかる書式・様式・マニュアルの整備拡充が望まれます。	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	年1回の保護者等を対象にしたアンケート、行事等毎のアンケートが実施されており、保護者等の意見を収集する機会となっています。年2回個別面談が行われており、保護者等の意見や以降を聴取する機会となっています。福祉サービスとしての満足度を把握する仕組みの拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
(コメント)	苦情解決の方法が公表されています。解決の仕組みを、わかりやすく説明する工夫の拡充と、意見等も含めた内容の情報公表拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
(コメント)	相談スペースの確保があります。年2回の個人懇談の際に、意見や相談等を聴取出来るよう努められています。複数の相談先や相談方法を、わかりやすく保護者等に明示していくことが望まれます。	
Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
(コメント)	意見や相談については、速やかに対応できるよう努められています。意見・相談に関する、手順やマニュアル等の整備拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
(コメント)	法人として、リスクマネジメントに関する委員会が設置されています。ヒヤリハットの収集が行われており、職員間での共有が行われています。備品・設備等の定期的な確認の仕組み確立が望まれます。	
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	看護師が、室内環境の状況に留意し、必要な対応や対策について、職員間にて共有されています。電解水による、感染症予防に取り組まれています。保護者等への、情報提供や啓発拡充が望まれます。	
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
(コメント)	災害対策の備蓄食料・備蓄備品が、準備され、リスト化して管理されています。開園時間外や保護者等を含めた安否確認方法の確立、BCP（事業継続計画）の整備拡充が望まれます。	

		評価結果
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
(コメント)	法人全体で、業務マニュアルが策定されています。マニュアル実施状況を、客観的に評価確認できる仕組みの整備拡充が望まれます。	

Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
(コメント)	必要と思われた場面での検討が行われています。定期的にマニュアル等全般を見直しする仕組みの整備拡充が望まれます。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
(コメント)	入園時に、子どもの発達発育状況や保護者ニーズを主体としたアセスメントが行われています。継続的に、保護者等の意向、具体的なニーズの把握・明示、計画に対する同意の明確化が望まれます。	
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
(コメント)	毎月の会議等で、振り返りが行われています。客観的に評価可能な、計画・目的の明確化が望まれます。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
(コメント)	発達状況や生活状況は様式に記録され、職員間で共有されています。計画に対する達成状況・進捗状況の記録拡充が望まれます。	
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
(コメント)	法人の規程に従った、漏洩防止等に配慮した個人情報等の保管、管理に努められています。事故時の対応方法等の整備拡充が望まれます。	

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育内容		
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
(コメント)	法人の保育理念、基本方針を踏まえ、園の環境や地域性を踏まえた、全体的な計画の策定に努められています。年間カリキュラムや月案、事業計画や各種計画との、連続性が明確となる内容の整理拡充が望まれます。	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
(コメント)	子ども自身が玩具を選び活動できる環境構成に留意されています。目的や時間帯によって、コーナー遊びができる場面を作り、子どもたちが主体的に活動できるよう配慮されています。	
A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
(コメント)	0歳児では、子どもに安心感を与えられるよう、仕草や表情から、子どもの思いや意向を受け止められるよう努められています。 1歳児では、言葉が十分でない面も踏まえ、子どもの思いや意向を表出していけるよう、思いに沿った受け止めができるよう努められています。 2歳児では、個々の子どもの思いや状態を大切に、受け止めることで、できる事の拡充に繋がられるよう配慮されています。 3歳児では、子どもの言動を否定するのではなく、向き合い受け止めることで、子どもの気持ちを大切に、向き合い受け止めるかかわり方に留意されています。	
A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
(コメント)	0歳児では、動ける範囲を踏まえた、生活習慣の習得をすすめ、個々の子どものペースでできる事を増やしていけるよう努められています。 1歳児では、遊びの中から少しずつ生活習慣の必要性に触れながら、できる事を増やしていけるよう努められています。 2歳児では、個々の子どものできる事を継続しながら取り組んでいくことで、できる事の完成度と幅の拡充に繋がられるよう努められています。 3歳児では、個々の子どものできる事を増やしていけるよう、発達発育状況に応じた生活習慣の習得が進められています。	
A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
(コメント)	0歳児では、子どもの動きや思いを妨げず、できる事を伸ばす、増やしていけるよう配慮されています。 1歳児では、戸外活動の展開の中で、身体を動かし、一緒に遊んだりかかわることを増やしていけるよう留意されています。 2歳児では、戸外活動の中で、様々な物に興味を持てるよう、また、興味を持った物について知ろうとする事に繋がられるよう留意されています。 3歳児では、主体性を持った活動や言葉となるよう、保育士が指示するのではなく、子どもたち自身が考え、自分の言葉で話していける力をつけられるよう留意されています。	

A-1-(2)-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	0歳児では、言葉がけと表情で、子どもに安心感を与えられるよう配慮されています。個々の子どもの発達発育状況を踏まえた、かかわり方に留意されており、できる事、できないことを踏まえた活動の展開に努められています。	
A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	1歳児では、子どもとのコミュニケーションを大切にし、子どもを受け止め、自分の思いを子ども自身が出していけるよう留意されています。 2歳児では、個々の子どもを尊重した、子どものかかわり方を大切にされています。子どもの思いを受け止めながら、できる事の拡充と完成度を高めていけるよう努められています。	
A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	3歳児では、子どもの主体性を大切にし、子ども自身が答えを考え導き出せるよう配慮されており、子どもの考える力と語彙力を高められるよう努められています。今年度の新設園であり、4・5歳児の受け入れ実績はありません。	
A-1-(2)-⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
(コメント)	孤立した支援ではなく、全体の中で一緒に過ごし、交わる保育の提供に留意されています。他施設の内容や園での様子は、保護者と情報交換・情報共有が行われています。保護者等全体に対する、情報提供や啓発の拡充が望まれます。	
A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	在園時間が長い子どもには、子どもが飽きたり、寂しさや疎外感を持たないように、活動内容に配慮されています。	
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	—
(コメント)	【非該当項目】 今年度の新設園であり、4・5歳児の受け入れ実績がありません。	
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	b
(コメント)	看護師による、手洗い指導や、保健に関する周知等が行われています。定期健診・予防接種の進捗状況は、随時情報を更新し、追記することで把握できるよう努められています。保護者等に対する、情報提供や啓発拡充が望まれます。	
A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
(コメント)	健康診断の結果は、看護師が内容を確認し、保護者等へわかりやすく伝えられる内容で、伝達必要がある内容を保護者等にフィードバックされています。	
A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
(コメント)	アレルギー対応ガイドラインに沿った、食物アレルギー対応に努められており、安全確保に留意されています。食物以外のアレルギー対応、慢性疾患等に対する、対応の拡充、保護者等全体への啓発・理解促進の拡充が望まれます。	

A-1-(4) 食事	
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
(コメント)	毎月、簡単なクッキングの機会が設けられており、年齢にあわせた内容で取り組まれています。食べ物を栄養にする話等、食の大切さや役割がわかる取り組みが行われています。活動の中で直接食材に触れる機会が設けられており、食材への興味や理解に繋がられるよう努められています。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
(コメント)	行事食のデコレーションを子どもたちが行ったり、季節食の食材観察等、子どもが季節や行事の素材に触れる機会が設けられています。毎月、各地の郷土料理を提供する日があり、内容等は給食便りでも保護者等にもお知らせされています。日々、喫食状況を栄養士が把握されており、次月以降の献立作成に反映されています。

	評価結果
--	-------------

A-2 子育て支援	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携	
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
(コメント)	日々の連絡帳や送迎時の会話を大切に、保護者との情報交換・情報共有に努められています。保護者からの情報提供内容を受け止め、双方向の情報交換・情報共有であることが実感できるよう配慮されています。記録に関するルールの明確化が望まれます。
A-2-(2) 保護者等の支援	
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
(コメント)	送迎時等で、保護者等の様子に異変や違和感を感じた場合は、声かけをしたり、相談にのれる雰囲気大切に、保護者から相談しやすい環境整備に努められています。通園児の兄弟に関する相談や、保護者等のストレスに関する相談等にも対応されています。相談に関する記録の整備拡充が望まれます。
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
(コメント)	子どもの登園時や着替えの際に、不自然な怪我や痣等が無い確認されています。違和感を感じた場合は、園長・主任等に報告し、職員間で共有しながら、適切な対応ができるよう努められています。発見時の初動対応含めた、マニュアルの整備拡充が望まれます。

	評価結果
--	-------------

A-3 保育の質の向上	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
(コメント)	職員の自己評価と面談が実施されています。課題については、全体で共有し解決に向けた話し合いに繋げる機会があります。客観的に評価可能な目標設定の拡充が望まれます。

		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
(コメント)	他施設での不適切な事例等を共有し、会議の場等でも、職員間で振り返り考える機会が設けられています。	

利用者(子ども)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	
調査対象者数	人
調査方法	

利用者への聞き取り等の結果（概要）

コロナ禍の制限下以降、園児直接のヒアリングは実施を見合わせております。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	全園児の保護者等
調査対象者数	有効回答数 26 人
調査方法	全園児の保護者等に対し、大阪府参考様式項目のアンケート用紙・返信用封筒を配布し、保護者等から直接、評価機関宛返送にて収集。

利用者への聞き取り等の結果（概要）

アンケートの設問は、大阪府参考様式の項目を基に、配布実施しました。

【選択回答内容より推測される傾向】

各項目おおむねの保護者等が満足を感じられています。

【利用者自由記述内容抜粋】

- 保育士が充実している。 • 保育士とのコミュニケーションの場が多い。
- 子どもの様子の透視化が出来ている。 • 先生方が気さくで話しやすく明るい。
- 先生方の表情が明るく、働く環境が整っていると感じる。 • 食育をしっかりしてくれる。
- 給食室や職員室が保護者から目の届く場所に配置されている。 • 先生方がフレンドリー。
- 運動遊びや生活遊びを参観できるのがよい。 • 体操、学びの時間がある。
- 屋上に広い遊び場がある。 • 行事の際の先生方の手作りのしつらえが素敵。
- 先生方全て子どもの名前を覚えてくれている。 • 先生方全員が情報を共有している。
- 給食がよい。 • 先生方は優しくて熱心

【総括】

保護者等が、職員の子どもや保護者等に対する接し方や対応に対して、概ね良いイメージを持たれており、保護者と保育者の関係性の良さが見受けられます。

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等